

## 佳作

「もうどう犬に会って来たよ」

登米市立石越小学校 三年 佐藤 さとう 百笑花 もえか

わたしは、ふくしたいけんにさんかしました。わたしは犬が大すきなのでお母さんにすぐおねがいしてさんかさせてもらいました。お兄ちゃんもいっしょにいたのであん心しました。バスで仙台のくん練センターにむかいました。

くん練センターにつくと、げんかんでスポンジの上で足をしようどくしました。わたしはもうどう犬に会いたくて会いたくてたまりませんでした。いすにすわってまってる、係の人がもうどう犬をつれて来ました。係の人にしじをだされると、もうどう犬はすぐ言うことを聞いていました。ふせと言われると、ずっとまっついていて、ぜんぜん立ちあがろうとはしませんでした。わたしのお家の犬もゴールデンレトリバーですが、おてんばで、ぜんぜん言うことをききません。センターの犬はとってもおりこうさんだと思いました。

つぎに、目の見えない人のたいけんをしました。わたしは目かくしをして、おともだちのかたに手をかけて、右左とお

しえてもらってホールをいっしゅうしました。わたしは目が見えてないので、どこを歩いているかぜんぜんわかりませんでした。こんどは、もうどう犬といっしょにあるきました。わたしはまた目かくしをしてもうどう犬のせなかについているぼうをもつて、ゆっくりひっぱらないようにやさしくにぎりました。わたしは、もうどう犬といっしょにあるけてとてもうれしかったです。

わたしはほんとうに、目が見えなかったら、とってもたいへんだし、とってもこわいなと思いました。わたしは、もうどう犬がとってもやくだっていることがはつきりわかりました。

わたしはしょうらい、目の見えない人のやくにたつ、もうどう犬のくん練になりたいと思っています。